

平成17年9月期決算説明会

平成17年10月27日

ファイナンス・オール株式会社

本資料に掲載されている事項は、ファイナンス・オール株式会社のご案内等のほか、当社の事業戦略等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の発行する株式その他の有価証券への投資の勧誘を目的としたものではありません。なお、当社は、本資料に含まれた情報の完全性及び事業戦略など将来にかかる部分については保証するものではありません。また、本資料の内容は予告なしに変更又は廃止される場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

平成17年9月期決算のハイライト

- (1) 各事業部門が順調に伸長
連結営業利益率が前期9.9%から**15.3%へと向上**。
- (2) マーケットプレイス事業が好調
営業利益が前期比**71%増**。見積もり件数は69万件突破。
- (3) 公庫証券化ローン『フラット35』が好調（SBIモーゲージ）
2005年9月末の**融資実行残高1,224億円**。新規融資金額827億円。
- (4) 決済プラットフォーム・決済受託事業ともに好調（SBIベリトランス）
トランザクション件数が前期比**70%増**。通期業績予想を**上方修正**。
- (5) 平成17年9月期の1株当たり配当予想を修正
前回発表の75円から**100円へ増配**。配当性向は**22.9%**に向上。

第1部

平成17年9月期の業績について

(平成16年10月1日～平成17年9月30日)

平成17年9月期連結業績

(単位:百万円)

	平成16年9月期 (平成15年10月 ～平成16年9月)	平成17年9月期 (平成16年10月 ～平成17年9月)	増減率 (%)	通期業績予想 (9月15日発表)
売上高	10,150	13,854	+36.5	13,500
営業利益	1,001	2,118	+111.6	—
経常利益	975	2,050	+110.2	2,000
当期利益	637	3,603 [※]	+465.5	3,500

※ 子会社SBIベリトランス(株)の株式公開時の公募増資(平成16年10月)及び子会社SBIモーゲージ(株)の第三者割当増資(平成17年2月・5月)などに伴う「持分変動によるみなし売却益」2,556百万円を当期に計上。

平成17年9月期単体業績

(単位:百万円)

	平成16年9月期 (平成15年10月 ～平成16年9月)	平成17年9月期 (平成16年10月 ～平成17年9月)	増減率 (%)	通期業績予想 (9月15日発表)
売上高	1,654	2,922	+76.7	2,800
営業利益	291	529	+81.3	—
経常利益	318	628	+97.7	580
当期利益	182	361	+98.2	330

平成17年9月期セグメント別連結売上高

(単位:百万円)



(注1) 単位未満は切り捨てにて表示

(注2) 売上高構成比率につきましては、連結消去及び全社費用控除前の数値に基づき算出しております。

平成17年9月期セグメント別連結営業利益

(単位:百万円)



(注1) 単位未満は切り捨てにて表示

(注2) 売上高構成比率につきましては、連結消去及び全社費用控除前の数値に基づき算出しております。

平成17年9月期連結業績における主な増収、増益要因 All

マーケットプレイス事業、ファイナンシャル・プロダクト事業、ファイナンシャル・ソリューション事業、その他事業を含む**全事業部門において過去最高の売上高・利益**を記録した結果、**連結売上高・利益とも過去最高を大幅に更新**

セグメント	増収額 (百万円)	増益額 (百万円)	主な要因
マーケットプレイス事業	1,317	368	【インウェブ】自動車保険見積もり件数が前期比52%増。 【イ・ローン】仮申込件数が前期比85%増。 両事業ともコンテンツの充実、ユーザーの利便性向上、積極的プロモーション実施が奏功。 ・インターアイの吸収合併による売上寄与。
ファイナンシャル・プロダクト事業	1,334	506	【SBIモーゲージ】主力商品である住宅金融公庫の「フラット35」の取扱が好調。借換え希望者対象の「グッド住宅ローン」も堅調推移。新規融資実行金額が前期比217%増。 【SBIリース】ブロードバンド・コンテンツ関連リースを主体にリース料収入は堅調推移。
ファイナンシャル・ソリューション事業	852	250	【SBIペリトランス】クレジットカード処理件数と店舗数が堅調推移。 【SBIテクノロジー】リアルタイム・トレーディングツールの開発等大型案件の取込みにより増収に寄与。
その他事業	242	35	住宅ローンコンサルティング事業の収入増加、通期黒字転換。保険代理店事業も堅調推移。6月に子会社化したSBIプロモも売上に寄与。

第2部

株主還元と今期の業績予想について

株主還元について

利益配当金
による還元



増配

	期末	配当性向
今回予想 (平成17年10月25日発表)	100円	22.9%
前回予想 (平成17年4月25日発表)	75円	20.0%
前期実績 (平成16年9月期)	45円 ※	18.1% ※

※平成16年11月19日実施の株式分割(1:4)を考慮し算出しております。

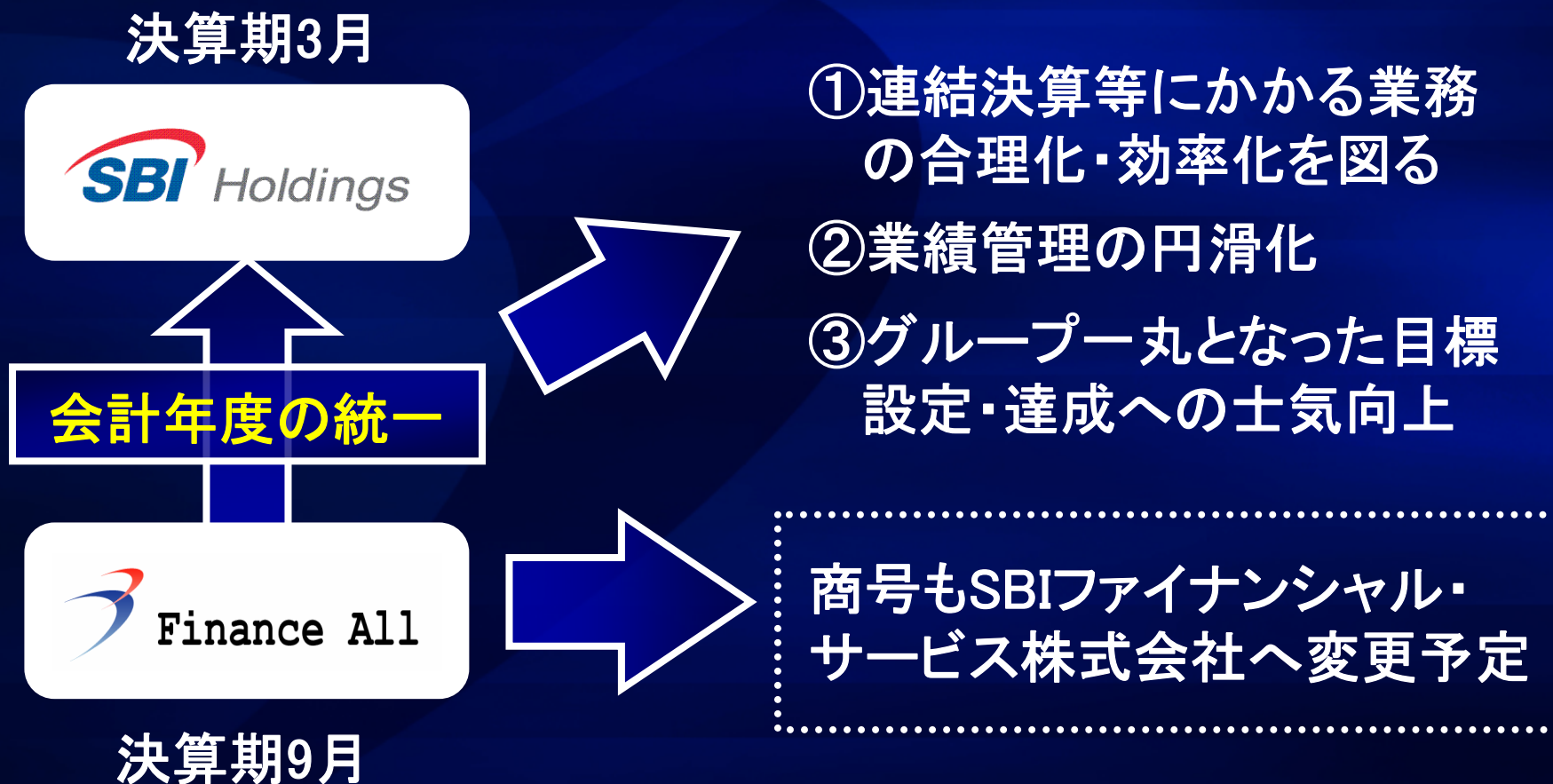
(注1) 本年12月開催予定の当社第5期定時株主総会に付議致します。

(注2) 当社は中間配当は行なっておりません。

決算期の変更について

決算期を9月から**3月**に変更予定。
第6期は、決算期変更に伴い**6ヶ月の変則決算**となります。

(平成17年10月1日から平成18年3月31日)



平成18年3月期の業績予想について

決算期変更に伴い、**6ヶ月間の業績予想**（平成17年10月1～平成18年3月31日）

【連結通期業績予想】

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
通期(6ヶ月)	9,500	1,500	750
前年中間期実績	6,327	965	1,059

【単独通期業績予想】

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 期末配当金
通期(6ヶ月)	1,500	400	220	52円
前年中間期実績	1,370	347	192	—

第3部

平成17年9月期セグメント別概況

(1) マーケットプレイス事業

① 総合比較サイトへの変革

子会社インターアイを吸収合併し、マーケットプレイス事業の集約化・効率化を推進。さらに、比較ポータルサイト「比較ALL」を開設し、金融関連情報と生活関連情報との相乗効果を図り、付加価値の高いサービスを提供。

② インズウェブ、イー・ローンが**トップクラス**の地位を確立

「保険の窓口インズウェブ」が提供する自動車保険一括見積もり請求サービスの参画保険会社数が**20社**に到達、見積もり件数も年間約**45万件**となった。「イー・ローン」でも都市銀行・地方銀行信販会社等67社、商品数428と**日本最大級のデータベース**に拡充。

③ 金融・生活関連情報サイトを**新たに10サイト**開設

金融分野である「クレジットカード」「証券」「外為」「商品先物」「マイカーリース」の比較サイトから、「自動車」の買取査定サイト、「引越」の比較サイト、「商品」仲介サイト、「メセク」「化け犬」のブログサイトまで生活関連情報のサイト、合計10サイトを短期間で新規開設。

④ SBIリースが**マイカーリースのマーケットプレイス事業**を開始

マイカーリース市場開拓の担い手となるべく、ファイナンス・オールグループが持つインターネット活用ノウハウ・経営資源を最大限活用し、マイカーリースのリース料一括見積もりサイトと自動車買取査定サイトを新たに開設。

総合比較サイトへの変革

マーケットプレイス事業の集約化・効率化を推進。さらに、比較ポータルサイト「比較ALL」を開設。

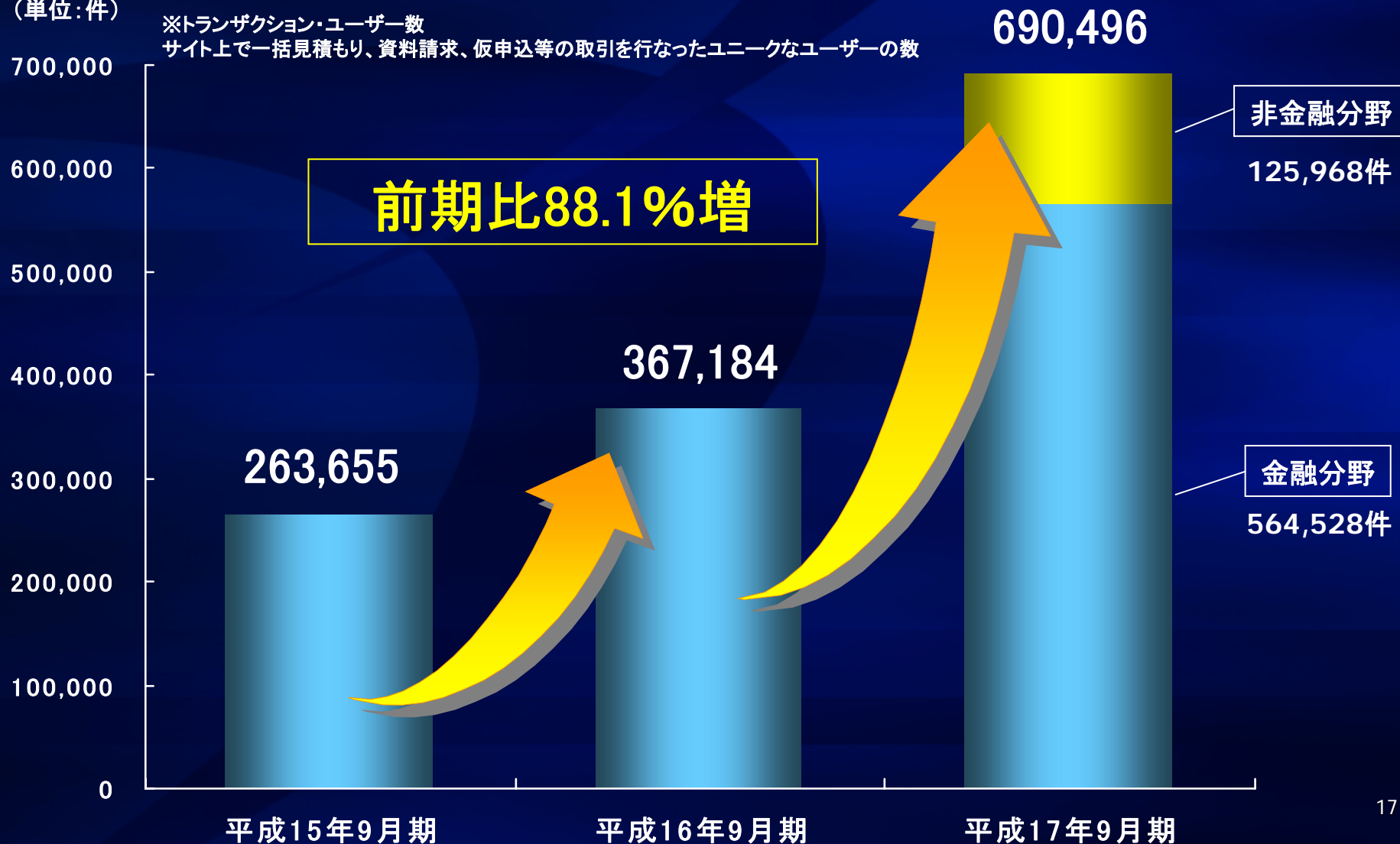


成長するマーケットプレイス事業 ①

トランザクション・ユーザー数の推移

(単位:件)

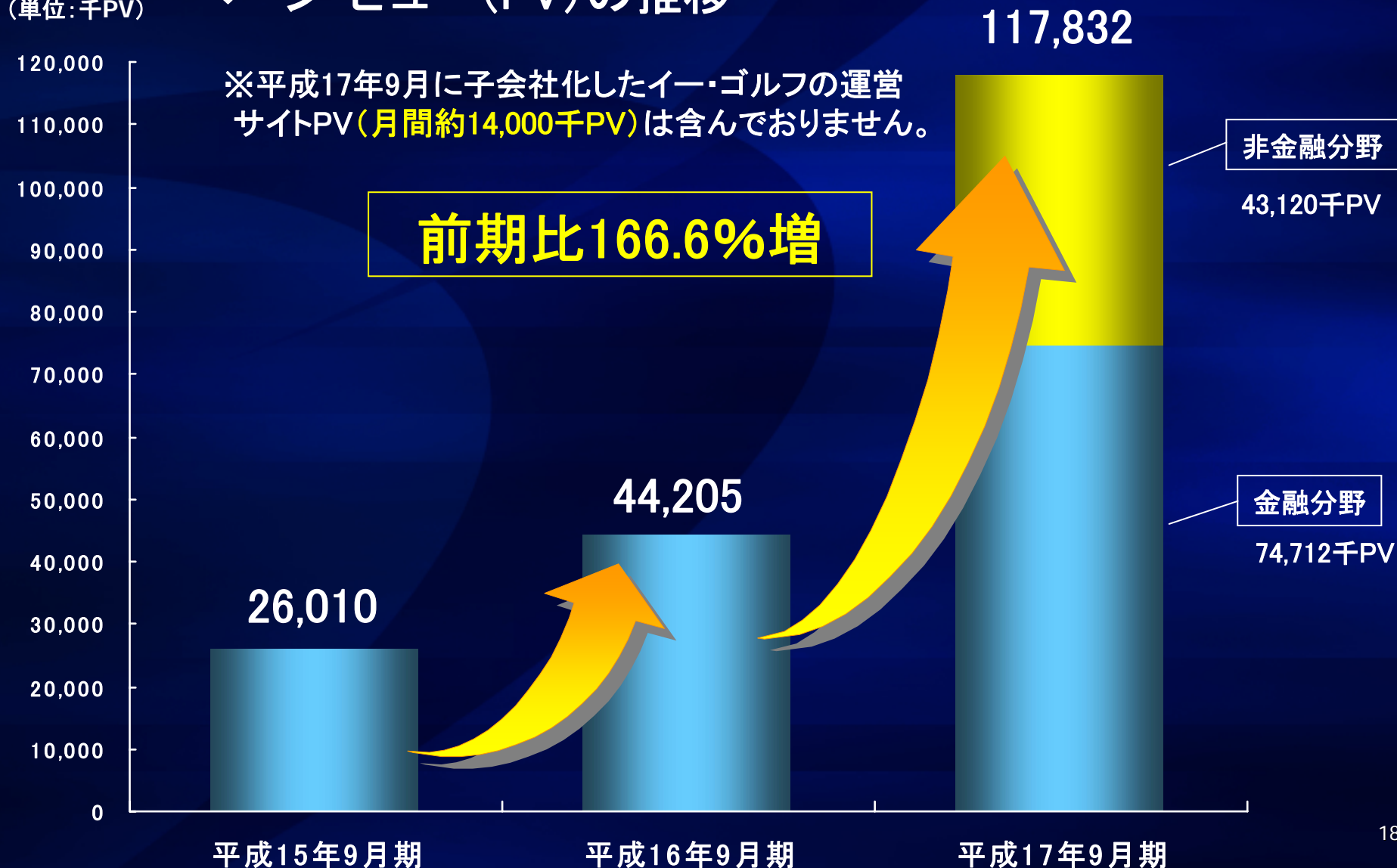
※トランザクション・ユーザー数
サイト上で一括見積もり、資料請求、仮申込等の取引を行なったユニークなユーザーの数



成長するマーケットプレイス事業 ②

ページ・ビュー(PV)の推移

(単位:千PV)



インズウェブがトップクラスの地位を確立

Finance All

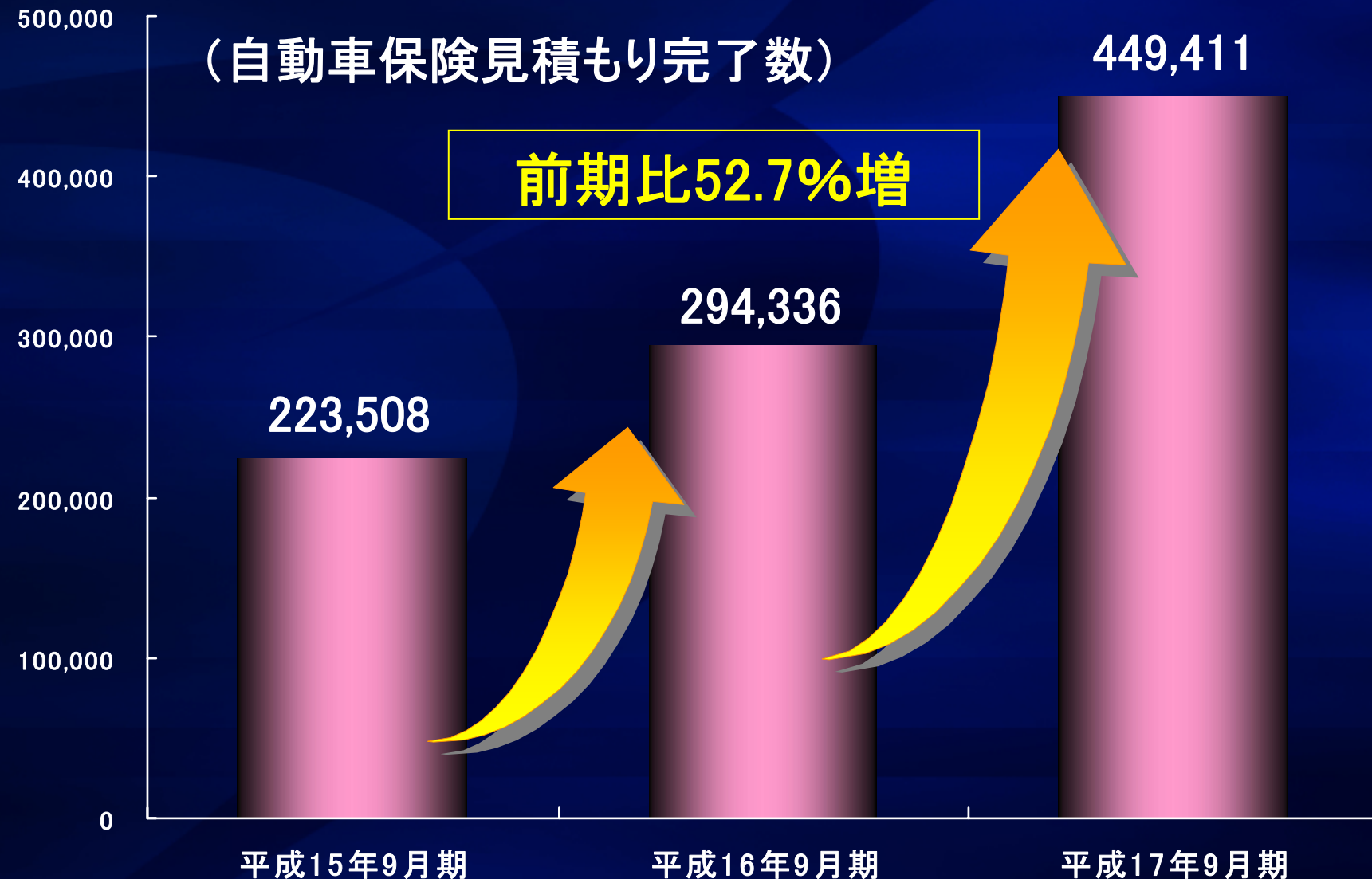


圧倒的な優位性を誇る「自動車保険一括見積もりサービス」



インズウェブ事業の状況

(単位:件) トランザクション・ユーザー数の推移
(自動車保険見積もり完了数)



イー・ローンが飛躍的にコンテンツを拡充

Finance All

E-LOAN

日本最大級の豊富なローンデータベースに成長

金融機関数67社

ローン商品数425

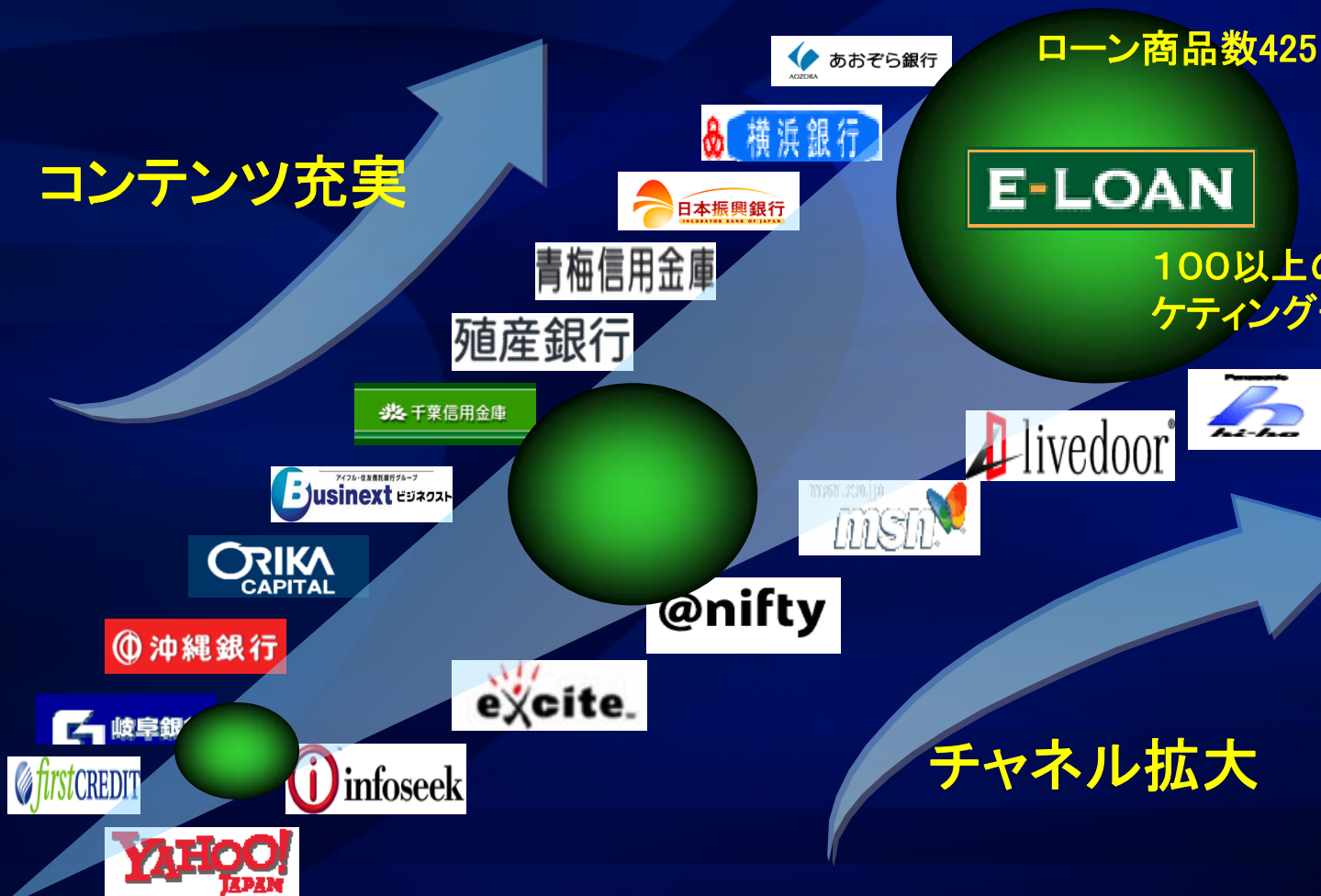
E-LOAN

100以上のネットマーケティングチャンネル

参画会社数

コンテンツ充実

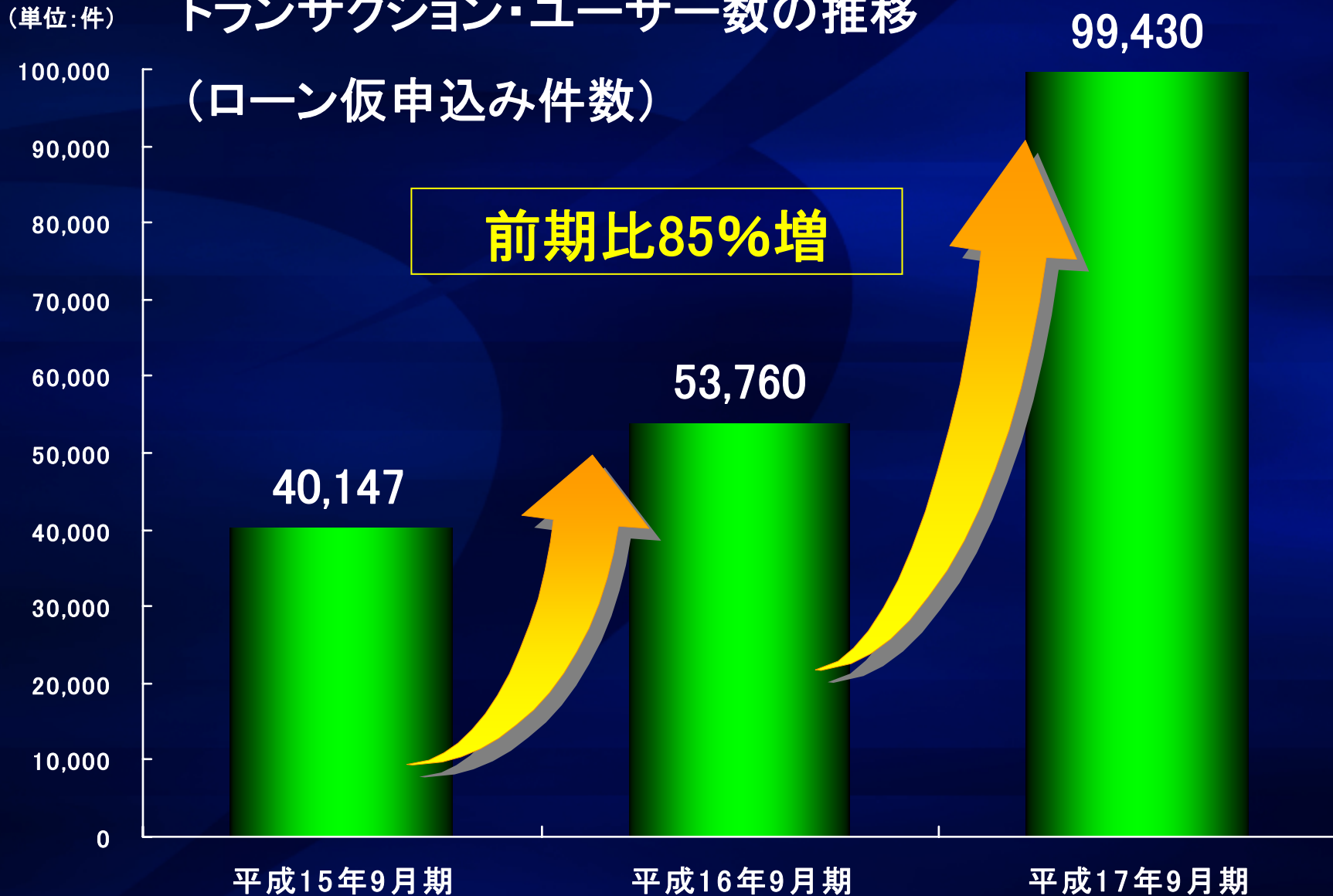
チャンネル拡大



チャンネル数

イー・ローン事業の状況

(単位:件) トランザクション・ユーザー数の推移
(ローン仮申込み件数)



新たな比較・見積もり、情報サイトの開設 Finance All

比較ALL™

金融分野の比較・見積もりサイトから生活関連の情報サイトまで幅広く**合計10サイト**を開設。新規サイト開設を**加速化**させた。

カテゴリー

比較ALL™

総合比較サイト

比較・
見積もり

引越



引越達人セレクト

クレジットカード



ALLカード比較

外為証拠金



ALL外為比較

商品先物



ALL先物比較

証券



ALL証券比較

マイカーリース



おくるまりース

自動車買取



おくるまオンライン査定

仲介

ブランド品



流通センター

ブログ

女性向け



化け犬.jp

男性向け



メトセク.jp

金融分野の比較サイトを拡充

国内初、外為証拠金・先物取引の「一括資料請求サービス」提供



インターネットユーザー

一括資料請求

比較・検索

金融

2005年

- ・商品取引所法の改正
- ・金融先物取引法の改正

中立的サイト評価
コンテンツ提供

Gómez®

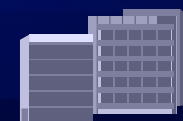
ゴメス・コンサルティング(株)

ALL先物比較



証券会社

ALL外為比較



外為専業会社

ALL証券比較



商品取引会社

商品売買取引の仲介サイトを新規開設

『チケット流通センター』の運営で培った売買仲介ノウハウを転用

- ① 予算内で収まるかどうか？
- ② 競りに要する時間は？
- ③ 偽物が届かないか心配！
- ④ 代金を支払ったのに…

インターネット
オークションの場合



・トラブル
・不安



個人間売買

仲介ノウハウ



(例: ブランド流通センター)

- ① 予算内で購入可能
- ② 競りに要する時間は不要
- ③ 鑑定サービスの利用が可能
- ④ お金の流れを仲介するため安心



安心かつ円滑な
取引が可能に

鑑定
オプション

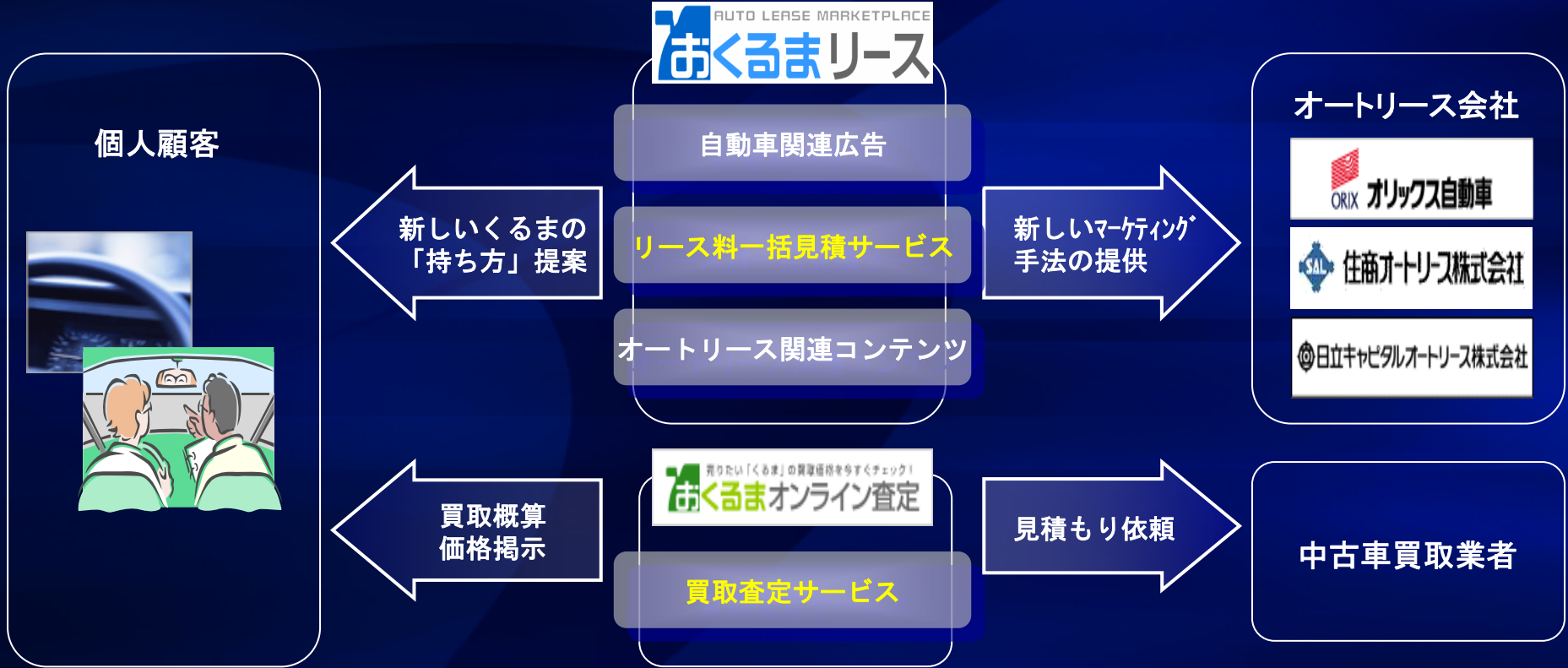
安心
仲介

SBIリースがマーケットプレイス事業を開始

Finance All



マイカーリースのリース一括見積もりサイトと買取査定サイトを開設



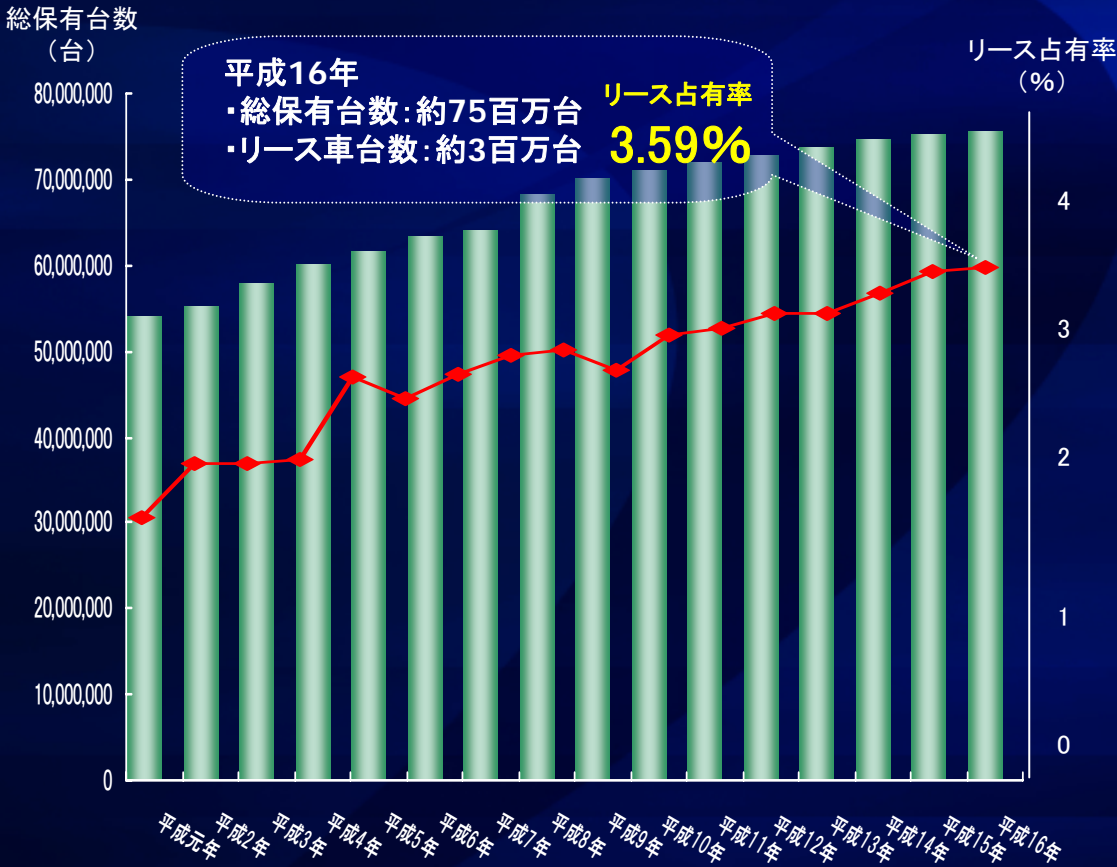
マイカーリース市場の潜在的な成長性

SBIリースがマイカーリース市場開拓の担い手を目指す。

個人に限らず、ノンフリース層※主体の中小法人までをターゲティング

※保険を掛ける自動車の合計台数が9台以下の方のこと

自動車総保有台数とリース車保有台数(比率)



新規販売台数に占めるリース車(比率)

年度	新規販売台数	リース台数	新規に占めるリース比率 (%)
平成7年	6,865	450	6.6
平成8年	7,077	462	6.5
平成9年	6,725	487	7.2
平成10年	5,879	469	8.0
平成11年	5,861	455	7.8
平成12年	5,963	529	8.9
平成13年	5,908	554	9.4
平成14年	5,792	530	9.2
平成15年	5,821	565	9.7
平成16年	5,853	611	10.4

(単位:千台)

※国土交通省、(財)自動車検査登録協力会、日本自動車リース協会連合会、日本自動車販売協会連合会及び全国軽自動車協会連合会の資料・ホームページより当社にて調査・作成

(2) ファイナンシャル・プロダクト事業

- ① SBIモーゲージの住宅ローン残高が**1,000億円**を突破
平成16年12月から取扱いを開始した長期固定金利型住宅ローン「フラット35」や借換え希望者も申込み可能な「グッド住宅ローン」など多くのお客様に評価頂いた結果、平成17年9月末時点で**残高1,224億円**となった。
- ② SBIモーゲージが取扱う「フラット35」のシェアを拡大
常に**顧客中心主義を徹底**。公庫証券化ローン「フラット35」の取扱いにおいて、全260金融機関の中で最低金利水準を実現。買取申請件数シェアが2004年度8.3%から2005年度**10.6%へ**と着実に拡大した。
- ③ SBIリースが自己ポジションでリース事業を積極展開
ブロードバンド・コンテンツ関連分野を主体に自己ポジションでのリース事業を積極的に展開。自己ポジションによる新規リース実行金額5,533百万円と前期比**75.8%増**となった。

成長著しいSBIモーゲージの住宅ローン事業

住宅ローン実行残高推移

(億円)

**2005年9月末
実行残高1,224億円**



フラット35(公庫証券化ローン)が牽引

公庫証券化ローン「フラット35」が引き続き好調。新規融資実行件数、新規融資実行金額が急増。前期実績の約3倍となった。

＜新規融資実行件数＞

(単位:件)



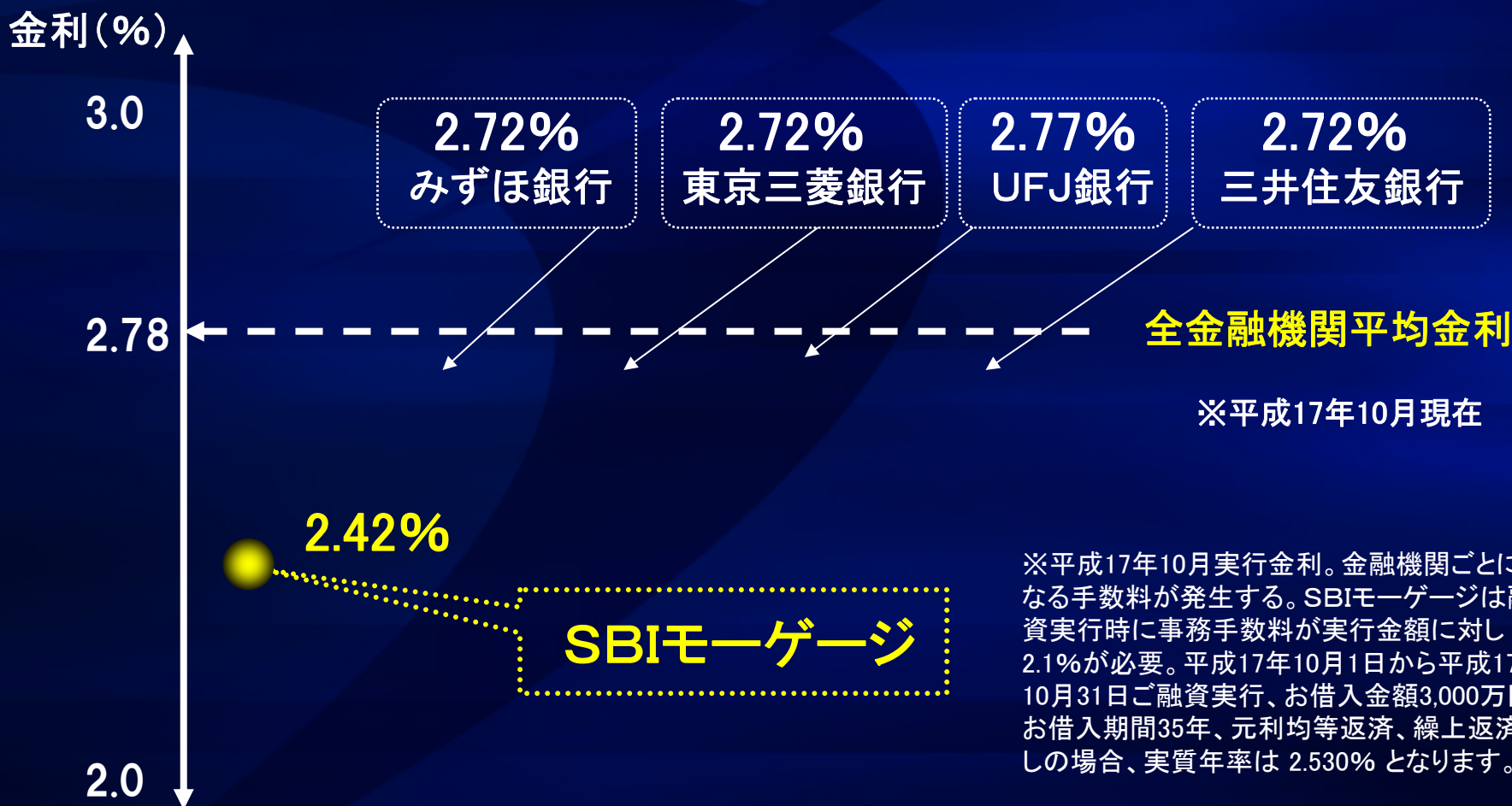
＜新規融資実行金額＞

(単位:百万円)



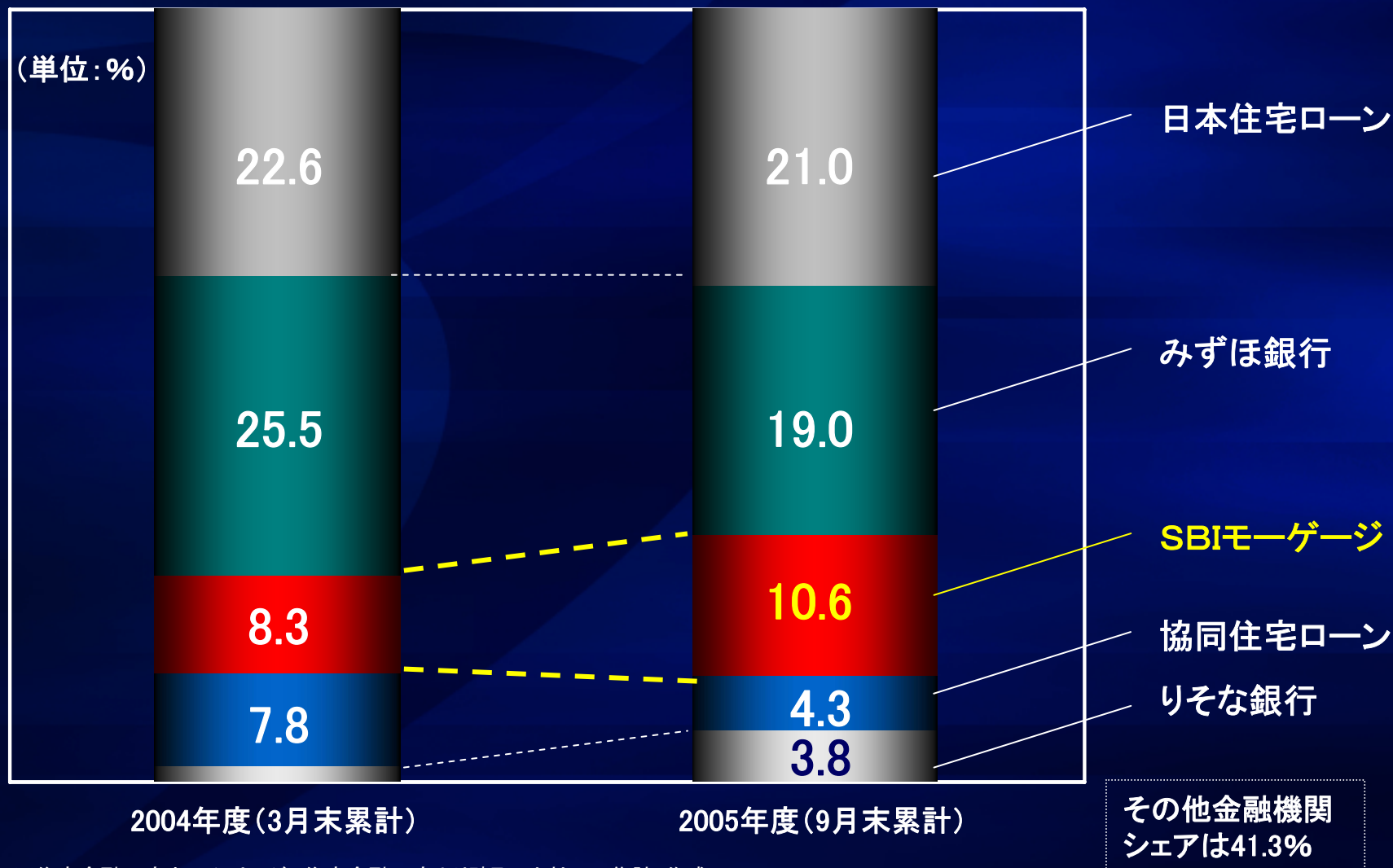
フラット35(公庫証券化ローン)の金利比較

最長35年固定金利、最低金利2.23%でスタート。常に**顧客中心主義を徹底**、全260金融機関の中で**最低金利水準**を実現。



フラット35(公庫証券化ローン)買取申請件数シェア

SBIモーゲージは2005年度においても着実にシェアを拡大



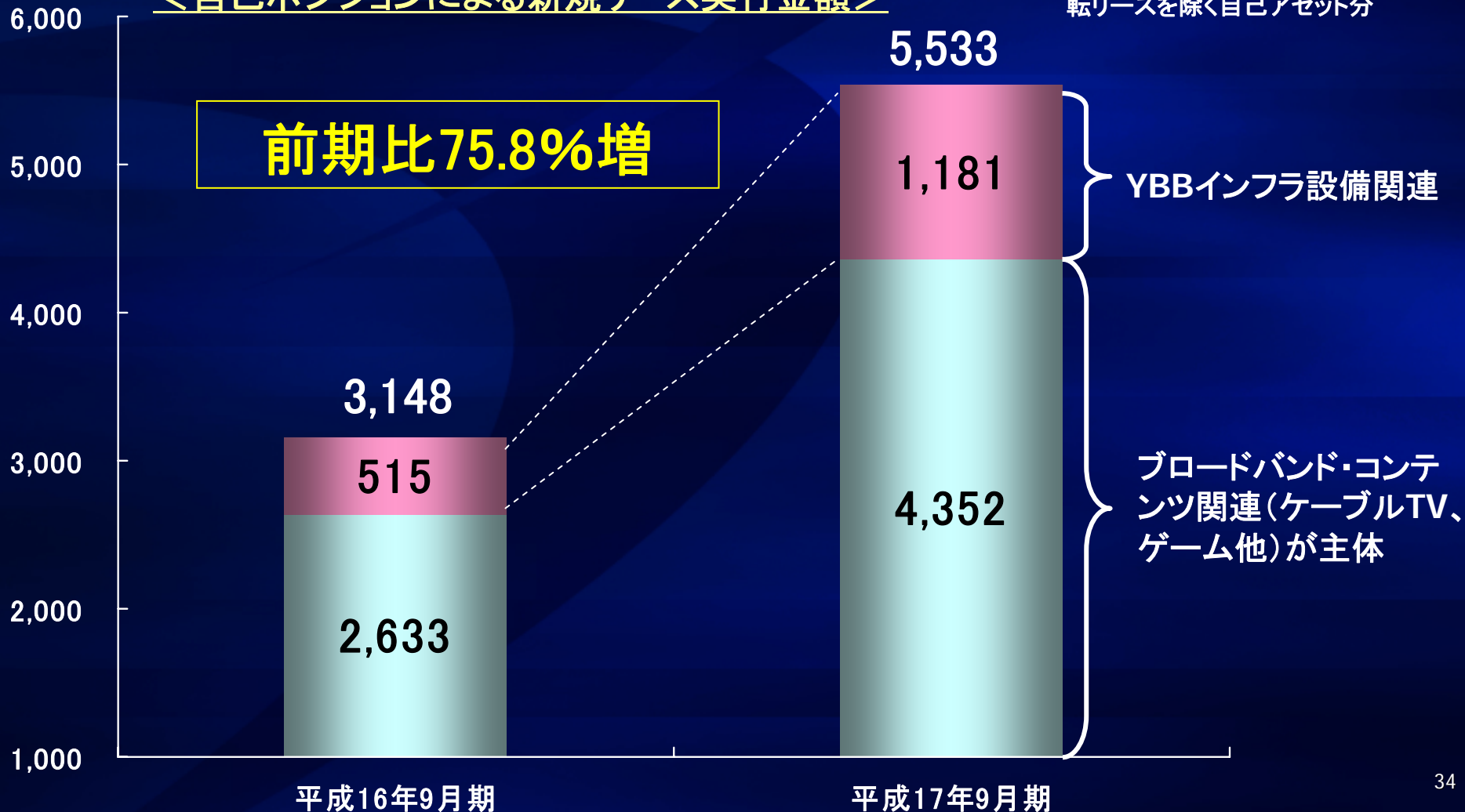
堅調に推移するSBIリースのリース事業

コンテンツ関連分野を主体に自己ポジションで積極展開

(単位:百万円)

＜自己ポジションによる新規リース実行金額＞

※自己ポジション＝アレンジメント、
転リースを除く自己アセット分



(3) ファイナンシャル・ソリューション事業

ファイナンシャル・ソリューション事業のトピックス

(1) 専門決済ASPから総合決済ASPへの事業展開

SBIベリトランスがクレジットカード決済サービスで蓄積した決済ノウハウをコンビニ決済、銀行振込、プリペイドカードに移植し、**決済手段の多様化**を推進。さらに、一括契約・収納代行による**決済受託業務の拡大**も図った。

(2) オークション・ショッピングサイト「ビidders」とアライアンスを強化

SBIベリトランスが(株)ディー・エヌ・エーと提携し、「ビidders」に出店する有料法人会員向けの決済機能として、**コンビニ決済サービス「ビiddersコンビニ決済」**を開始。

(3) 新リアルタイムトレーディングツールを共同構築

SBIテクノロジーが(株)電通国際情報サービスと共同で新リアルタイムトレーディングツールの開発を受託。イー・トレード証券の新サービス『HYPERE*TRADE』の構築を行なった。

SBIベリトランスの総合決済サービス事業

専門決済ASP (Application Service Provider) から総合決済BSP (Business Service Provider) へ

ECコマースマーケット全体

決済手段の多様化

受託業務の拡大

クレジット
カード決済

コンビニ
決済

銀行振込

プリペイド
カード

携帯
キャリア決済

代金引換

郵便振込

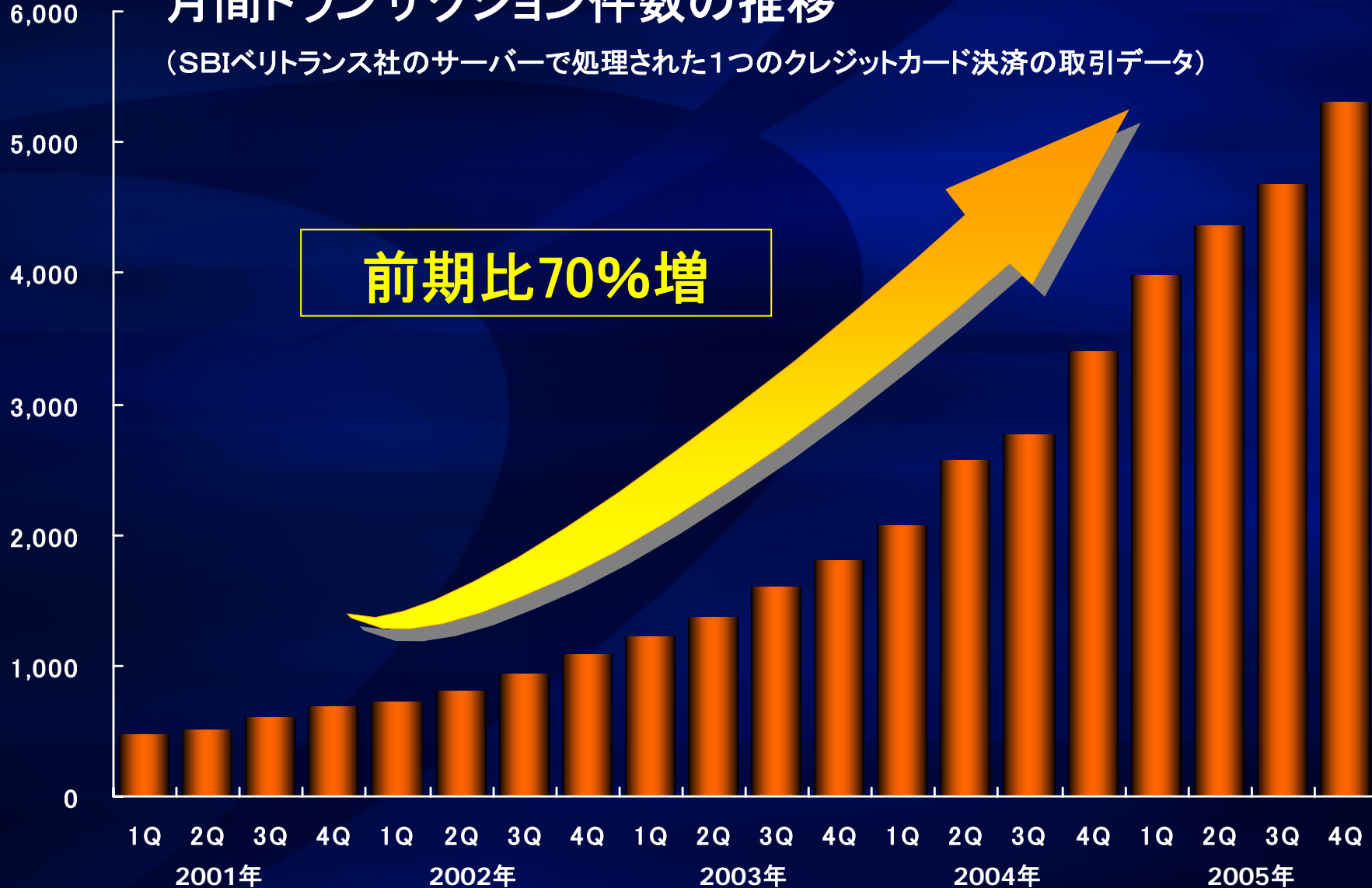
一括契約・収納代行

バックオフィス業務支援・受託

(千件)

月間トランザクション件数の推移

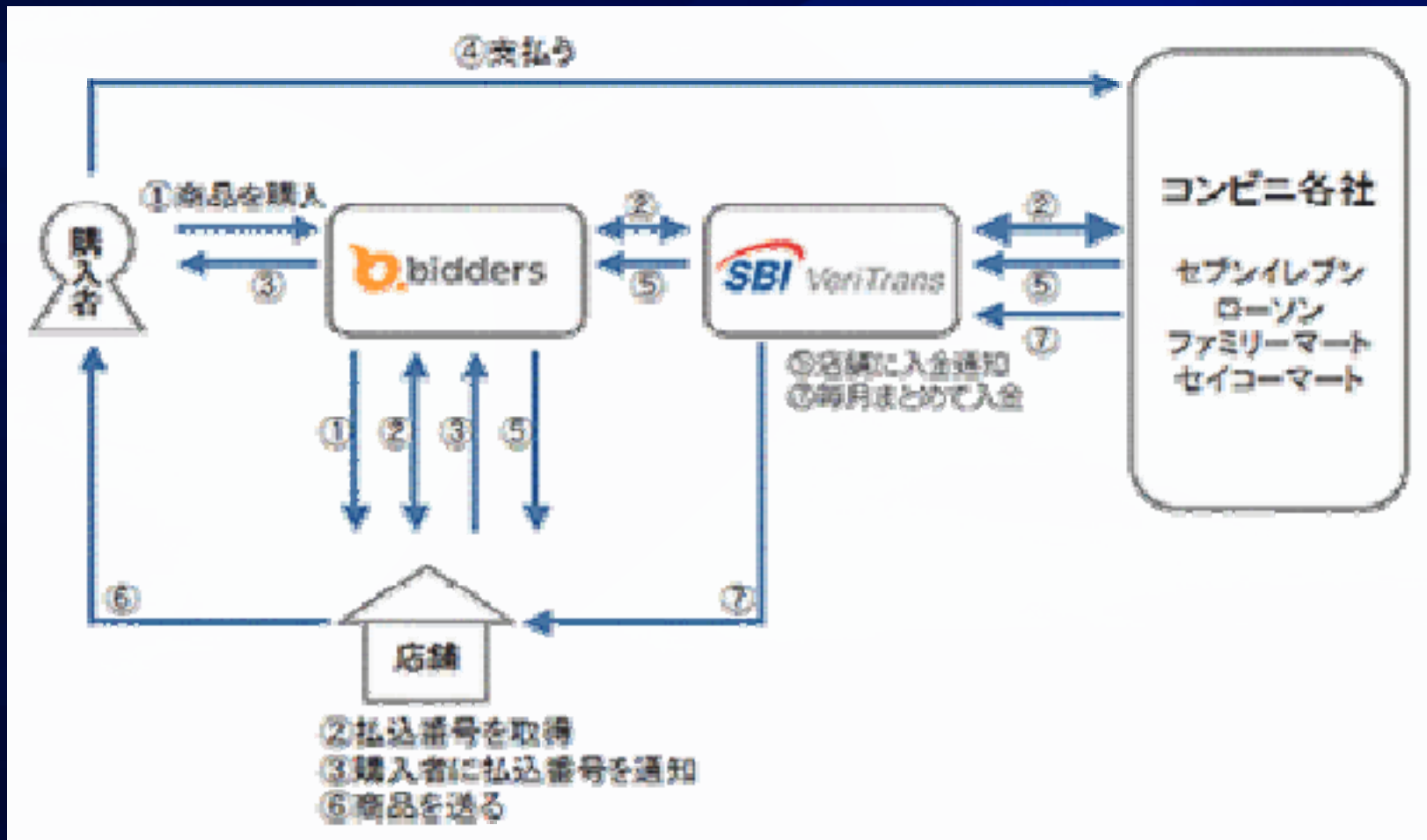
(SBIベリトランス社のサーバーで処理された1つのクレジットカード決済の取引データ)



前期比70%増

「ビidders」「ポケットビidders」とのアライアンス

決済インフラ提供という面から、国内EC市場の発展に積極的に寄与しつつ、事業の成長を図る



新リアルタイムトレーディングツールを共同構築

Finance All



SBIテクノロジーとISiDが共同でイー・トレード証券の新サービス開発を受託

SBIテクノロジー



韓国子会社

Finance All Solutions Co.,Ltd

電通国際情報サービス



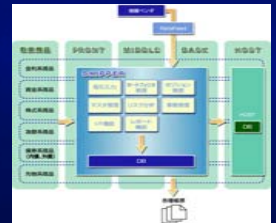
(東証1部:4812)

新リアルタイム トレーディングツール



先進的 ソリューション

画面機能 基本設計



E*TRADE J A P A N

- ・オンライン証券初のドラッグ&ドロップ注文
- ・気配値上にユーザの注文を個別表示



- ・注文準備コンセプト、素早いポジションの返済売り
- ・多様なアラート機能、カスタマイズ機能

第4部

新たな事業基盤の構築

戦略的アライアンス、JV、M&Aのハイライト

戦略的なアライアンスやジョイントベンチャー、企業買収等は飛躍的な企業成長を遂げる戦略的オプションとして有効

平成17年
2月28日

1 (株)セプテーニとのJVによるインターネット広告代理店事業への参入

平成17年
6月10日

2 (株)ニュートン・フィナンシャル・コンサルティングと保険の共同募集業務を開始

平成17年
6月30日

3 SBIプロモ子会社化による法人向け営業支援業務の開始

平成17年
7月1日

4 インターアイ吸収合併による効率性の追求

平成17年
9月21日

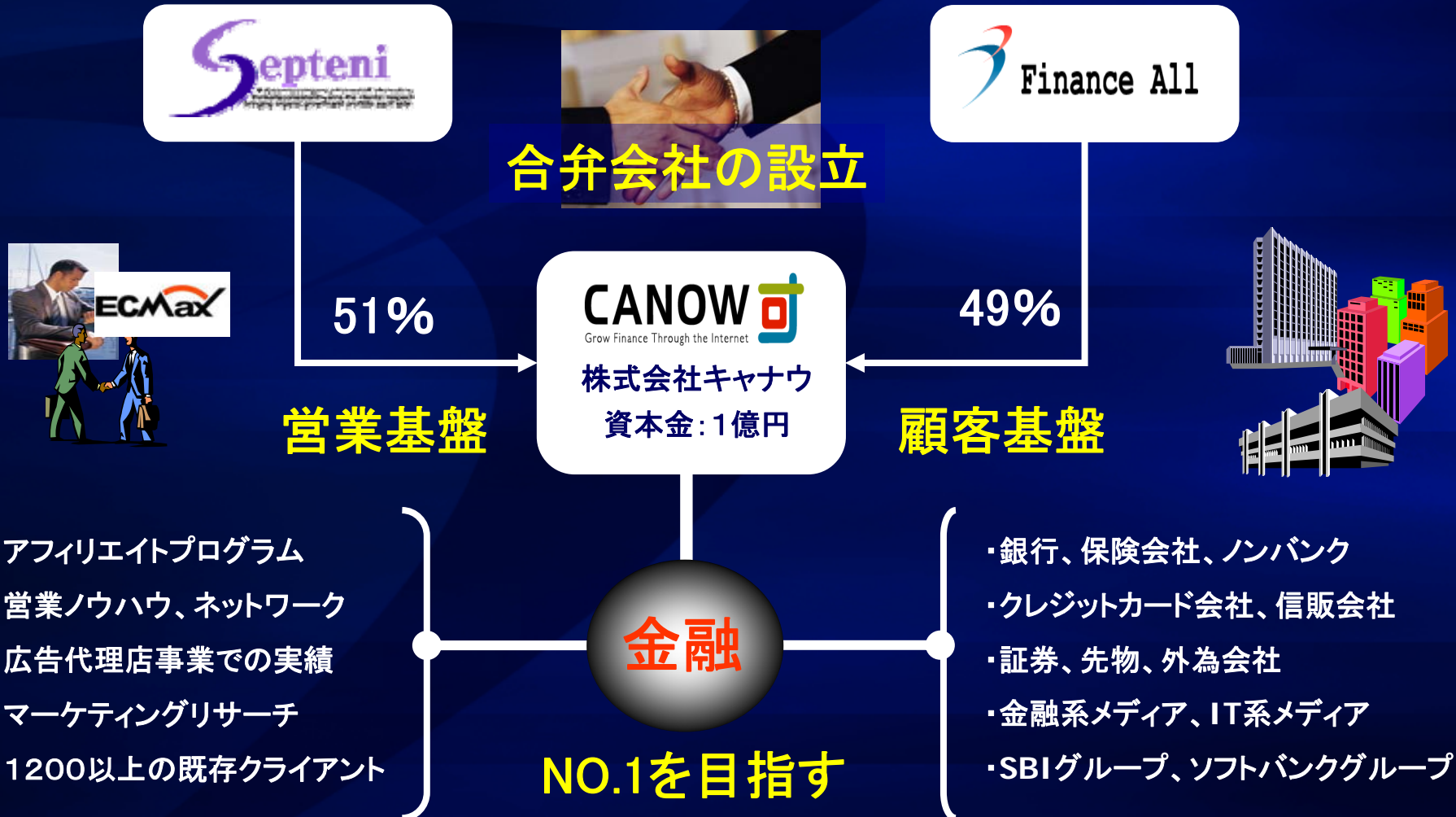
5 イー・ゴルフ子会社化による顧客基盤の拡充

平成17年
9月30日

6 SBIテクノロジーがTDSグループと戦略的業務・資本提携

① JVによるインターネット広告代理店事業への参入

金融分野を核としたインターネット広告代理店事業の展開



② 戦略的業務提携によるクロージング機能強化

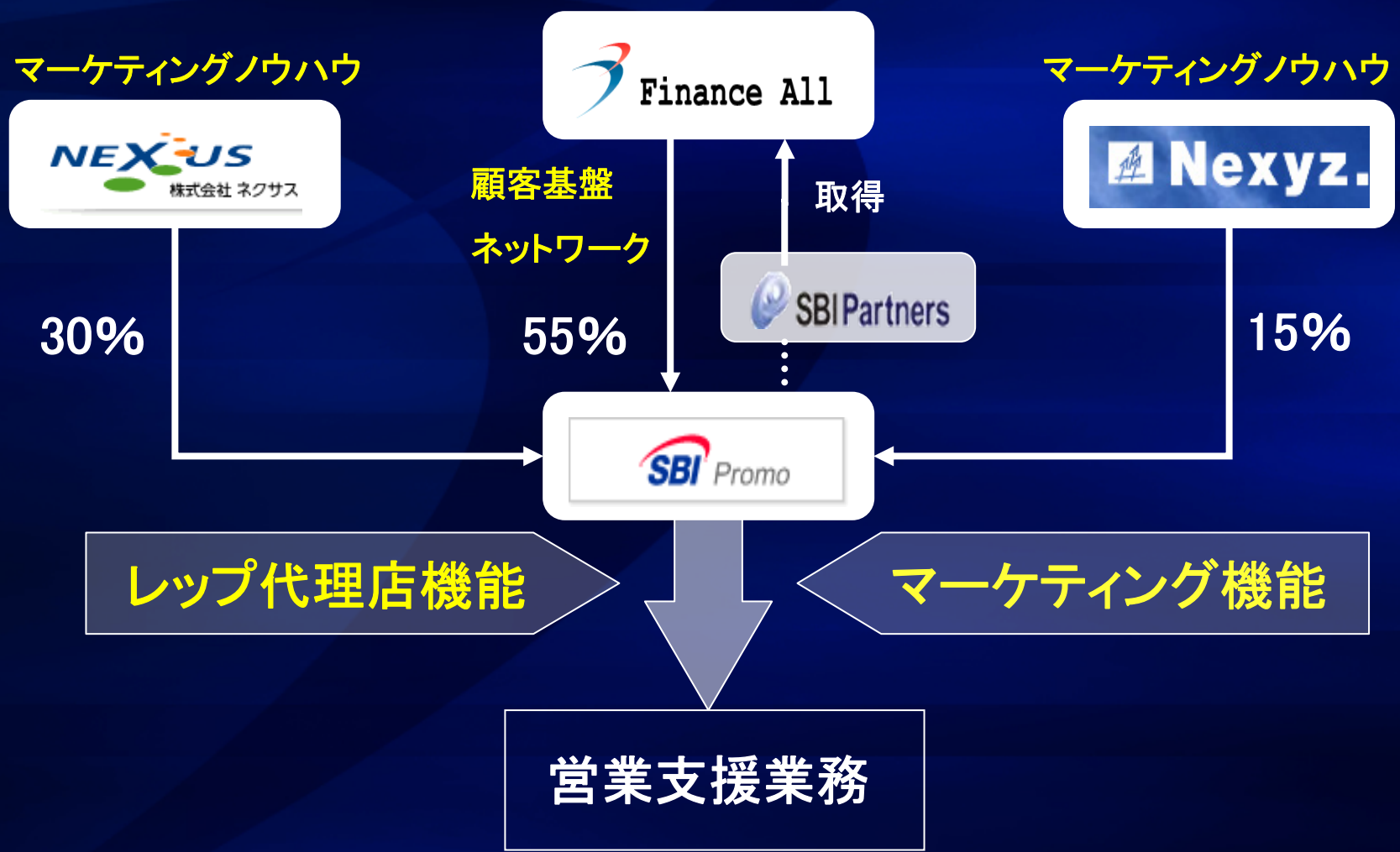
(株)ニュートン・フィナンシャル・コンサルティングと生命保険の共同募集業務を開始。





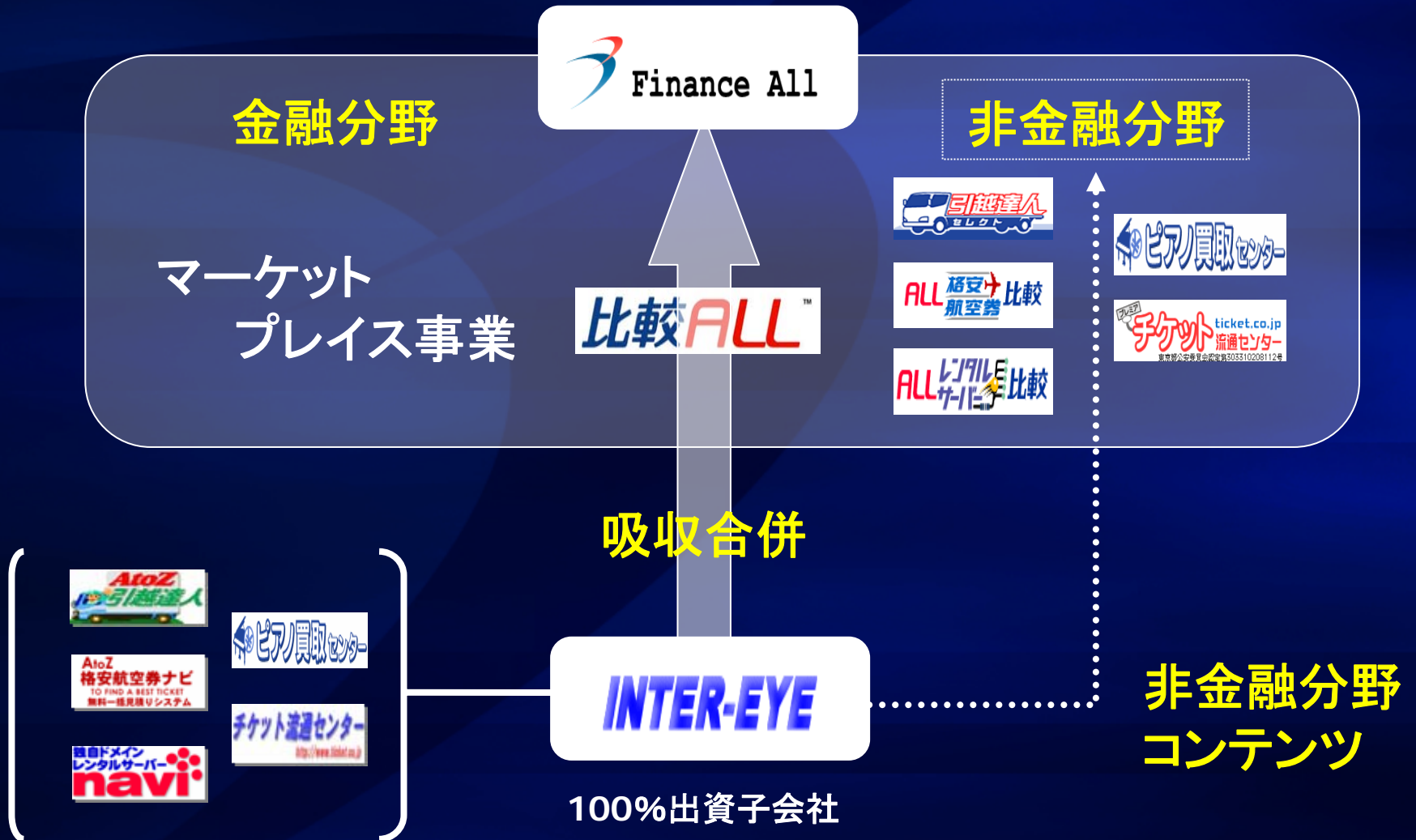
③ SBIプロモ子会社化による営業支援業務の開始

- ・ 事業者向けソリューション提供サービスの拡充
- ・ マーケットプレイス事業におけるプロモーション強化



④ インターアイ吸収合併による効率性の追求

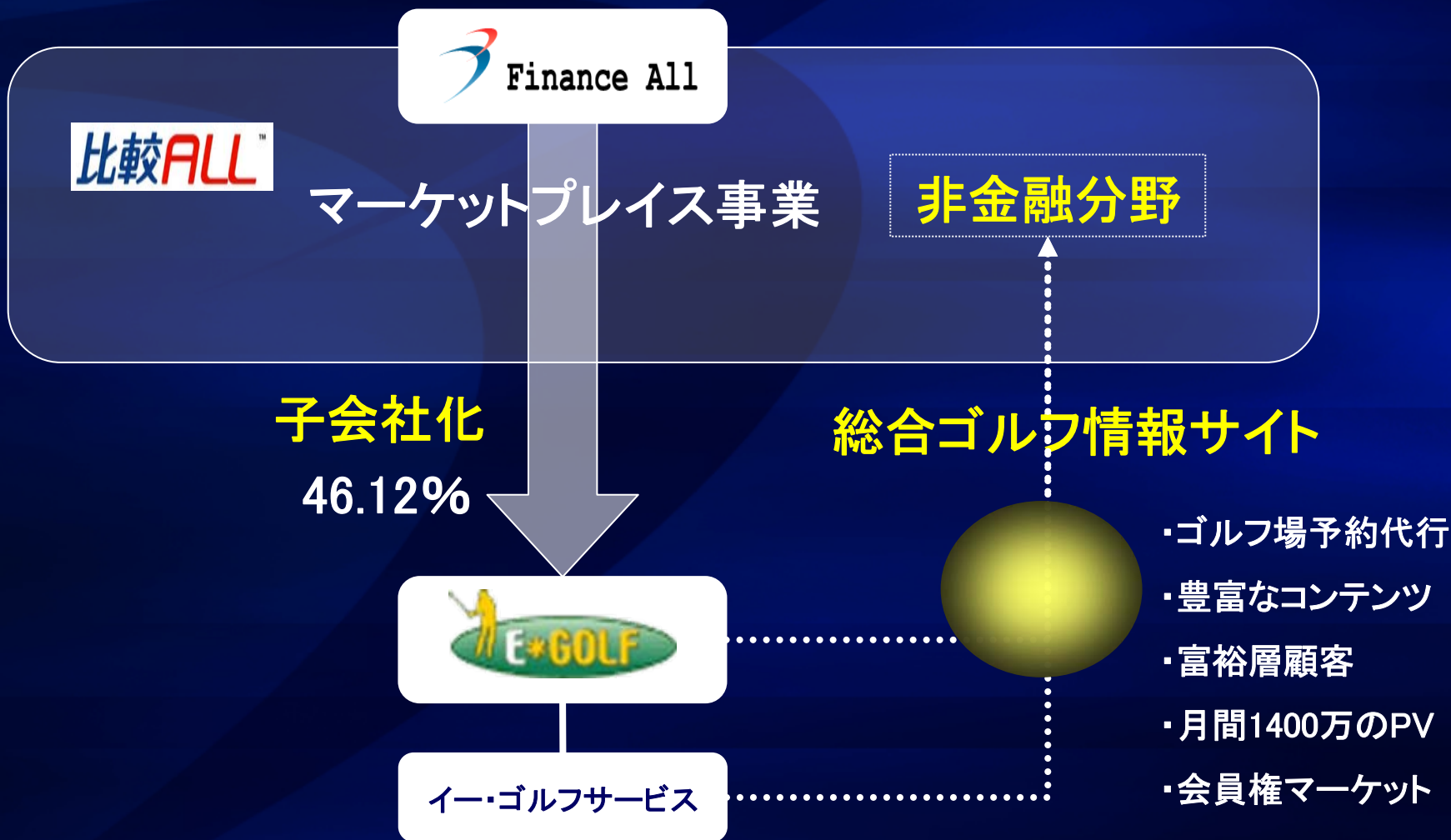
マーケットプレイス事業の集約化とさらなる効率化を推進





⑤イー・ゴルフ子会社化による顧客基盤の拡充

総合ゴルフサイト運営の先駆的企業を傘下に収め、マーケットプレイス事業の非金融分野において飛躍的な成長を見込む



当社グループとイー・ゴルフの事業シナジー

Finance All



イー・ゴルフが有する富裕層の顧客に対して、**親和性が高い**金融商品の比較・見積もりサービスを提供

イー・ゴルフ
サービス



ゴルフ関連
コンテンツ

富裕層顧客

金融

親和性

ゴルフ

富裕層顧客

ALL外為比較

ALL先物比較

ALL証券比較

比較ALL™

Finance All

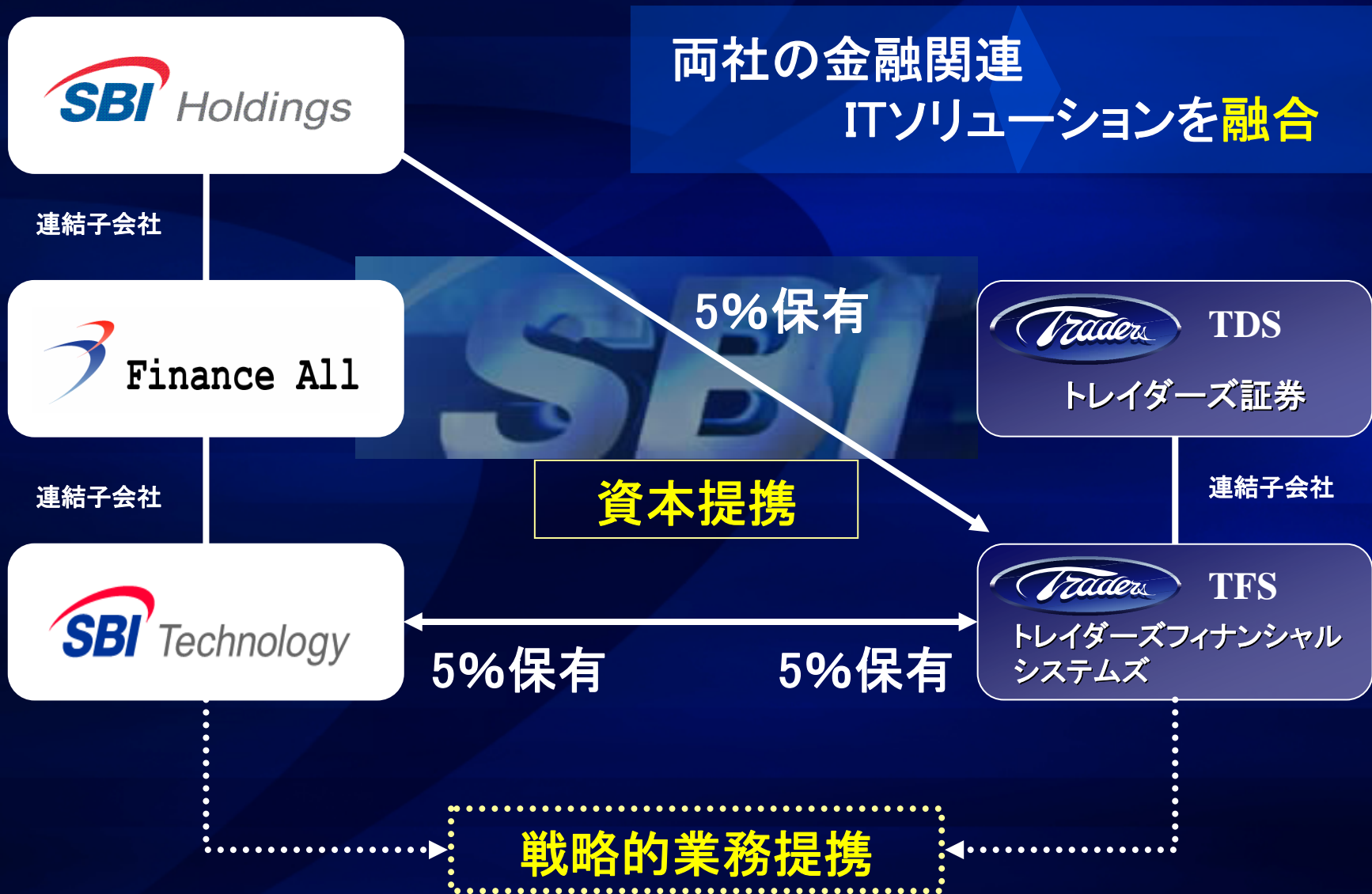
AUTO LEASE MARKETPLACE
おくるまリース

保険の窓
インズウェブ

ALLカード比較

- ① 効率的なマーケティング
- ② 双方の媒体価値向上

⑥ TDSグループとの戦略的業務・資本提携



TFSとの戦略的業務提携における幅広い可能性

付加価値の高いソリューションを実現させ、他社との差別化・競争力向上を図る



第5部

今後の事業戦略

重点強化分野 ～強くて尊敬される企業へ～

▶ 新たな比較サイトの拡充によるネットワーク価値の追求

金融・非金融分野の新たな比較サイトを開設することにより自社集客力を高め、媒体価値の向上を図るとともに、さらなるネットワーク価値を追求する。

▶ 戦略的アライアンス、JV、M&Aの強化

マーズフラッグとの戦略的アライアンスによる**事業基盤の構築**

▶ 新たな金融プロダクト事業展開

「顧客中心主義の徹底」を基本感に、IT技術の積極活用、最先端金融手法を駆使した従来の金融業界にはないイノベーティブな金融商品を開発・提供する。

▶ SBIグループ企業間シナジーの更なる追求

SBIグループ企業間との連携や相乗効果による**新たな価値創造**

▶ コンプライアンス強化への更なる取組み

個人情報保護に関する**セキュリティ・レベルの維持・向上**

「価格」訴求から「ネットワーク価値」の訴求へ



家を買いたいという意思・要求を持った人に対し、そこから派生するあらゆる情報を提供するネットワークを構築することにより、顧客の購買行動を効率的にサポートする。

総合比較サイト「比較ALL」でネットワーク価値を追求

【Step1】 ファイナンス・オールがより良い商品・サービスを厳選

【Step2】 顧客はその中から自分に合ったベストな商品・サービスを選択



SBIグループの生活関連ネットワーク事業とのシナジー

Finance All



非金融

コミュニティ

ライフプラン

格安航空券

ECサイト

生活情報

不動産投資

チケット情報

不動産評価

ローン比較

リフォーム情報

住宅ローン情報

保険比較

地域ファンド



生活ガイド.com

「自治体」「地域社会」情報等を切り口としたポータルサイト

比較・検索、見積もりを切り口としたポータルサイト

比較ALL™



金融

戦略的アライアンス、JV、M&Aの強化

《例》(株)マーズフラッグとの戦略的アライアンス

》両社の経営資源を最大限活用する



両社の有する経営資源を最大限活用した幅広い可能性

双方のコンテンツ連携



【具体例】
比較ALL
+
検索エンジン

広告商品の開発・拡販

広告を独占的に
掲載するコーナー
を設ける



高付加価値化

マーケティング強化

差別化

可能性

コンテンツ・技術の融合



【具体例】
Money Look
+
検索エンジン

韓国での展開を検討



検索結果の画像表示技術

当社及び当社子会社の商号変更について

Finance All

SBIのコーポレートブランドを当社グループの商号に冠する



※ファイナンス・オールは次回定期株主総会での承認を経て商号変更予定

子会社の商号変更

新商号	旧商号	実施年月
SBIモーゲージ(株)	グッド住宅ローン(株)	2005年5月
SBIモーゲージ・コンサルティング(株)	ホームローン・コンサルティング(株)	2005年5月
SBIリース(株)	ウェブリース(株)	2005年6月
SBIベリトランス(株)	ベリトランス(株)	2005年7月
SBIテクノロジー(株)	(株)テックタンク	2005年8月
SBIファイナンシャル・エージェンシー(株)	ファイナンス・オール・サービス(株)	2005年6月
SBIプロモ(株)	エスビーアイ・プロモ(株)	2005年10月

SBIグループ企業間シナジーの更なる追求

Finance All

SBIグループの企業生態系を最大限活用。～自己増殖の加速～





Finance All

当社の経営理念

「強い企業」から「強くて尊敬される企業」へ

「IT技術の積極活用」、「最先端金融手法の駆使」により従来の金融業界にはない金融サービスや金融商品を提供する金融イノベーターとなり、「顧客中心主義の徹底」を基本観に最大限の顧客満足を実現するとともに、わが国の金融業界の活性化・発展に寄与する。

金融業で培ってきた経営資源・ビジネスノウハウを活用して金融以外の事業領域へも積極的に進出することでインターネットを通じ情報と金融両面から、スマートな消費者と事業者をサポートするイノベティブ企業を目指す。



SBIグループの経営理念

- (1) 正しい倫理的価値観を持つ
- (2) 金融イノベーターたれ
- (3) 新産業クリエイターを目指す
- (4) セルフエボリューションの継続
- (5) 社会的責任を全うする

企業価値

- ① 顧客価値
- ② 株主価値
- ③ 人材価値

コンプライアンス強化への更なる取組み

平成17年10月4日にプライバシーマーク付与の認定を受けた。子会社のSBIモーゲージも10月20日に認定を受けた。今後も引き続き個人情報の保護に関するセキュリティ・レベルの維持・向上に努める。



※プライバシーマーク制度は、事業者の申請に基づき、個人情報保護に関する運用体制、規程類、記録、実施状況などの取組みを第三者機関(JIPDEC:財団法人日本情報処理開発協会)が審査し、個人情報の取り扱いを適切に行っている事業者に対して、その旨を示すプライバシーマークを付与し、事業活動にプライバシーマークの使用を認める制度です。

子会社もプライバシーマーク申請中

<http://www.financeall.jp/>



Hercules
Nippon New Market
<証券コード:8437>